

令和4年度第7回学校運営協議会会議録

学校名 天沼中学校

記録者 田中富子

開催日時	令和4年 10 月 24 日(月) 10 時 00 分～12 時 40分
開催場所	天沼中学校 会議室
出席者(委員)	三石会長、松尾校長、生重職務代理、齊郷委員、鹿野委員、柴田委員、 田中委員、根岸委員、馬場委員、福井委員
出席者(学校)	高際副校長
傍聴者人数	なし

会議内容(次第順)

【報告事項】

- (1)学校の教育活動について
- (2)メビウス No.13 の刊行
- (3)教員 との懇談会開催
- (4) 杉並区 CS 連絡会(10/11)
- (5)その他(12月の会議日程、連絡事項)

【協議事項】

- (1) 学校関係者評価に関わる調査項目の検討
- (2) PTA(保護者)と先生との懇談会開催結果からの意見交換
- (3) 学校での生徒指導について
- (4) 次期 CS 委員の継続可否について
- (5) 次年度教職員任用に関する意見書原案の検討
- (6) その他

主な意見

【報告事項】

- (1)①コロナ禍の中マスク着用規制が緩和されてきている。今後、生徒たちがアフターコロナの社会において生活することを見据え、生徒の個別事情を勘案しながら、マスクを着用しない時間を増やしていくよう促している。②1年生はコロナによる学校での活動制限や社会情勢が従前と異なっている影響からか自身のヘルプの出し方が分からない状況がときおり見られたり、中学生だとこのくらいの社会通念はわかっているだろうと思われることが伝わりにくい状況がみられる。具体的な事例としては、2年生での校外学習での事例ではあるが、土産購入時に「土産物というのはその地域や文化の特徴を象徴する名産品とするという意図が理解されていない」ことが一因で、一般的な物品をお土産として購入していることなどがあった。③コロナ対応の緩和に伴いボランティア活動を再開してきている。道徳授業地区公開&説明会&懇談会への参加等への感謝の念が校長よりなされた。
- (2)メビウスNo.13はPR部会のおかげで金曜日に出上がり、配布も終了。
- (3)10月15日教師18名とCSメンバーでの懇談会は、グループに分かれて話し合いが行われた。内容は大きく分けて4つの事で1、生徒への対応・支援のあり方について、2.部活動の支援と教師の負担について、3、教師が教育活動専念できるような、ICTやPCの使用技術や機器管理や整備等のサポート体制について、4、先生方の日頃困っている事などを聴きCSとの間が風通しがよくなったと言う感想がだされた。これらのことも、学校評価に於ける調査や参考資料として活用する。

(4) 杉並区CS連絡会が、10月11日杉並区役所会議室で2時間開催された。教育長からの「小中連携について」の話があり、そこでCSの役割は校長の考えを前に進めることと、立ち止まって考える機会をつくる役でもあることが話された、その後、3、4校の委員がグループになり小中連携の現状と課題、今後について話し合われた。AKAの3校のCS委員がちょうどグループになったので、今後連携・情報交換を積極的に行おうという話し合いがなされた。

(5) 11月1日音楽発表会、荻窪音楽祭開催のご案内がなされた。

【協議事項】

(1) <学校関係者評価委員の名簿の提出について>学校関係者評価委員推薦に関わって①小中連携を意識して学区内小学校の状況がよくわかる方を委員として推薦するのはどうか。その際には、小学校校長等の役職に限らずに推薦するのはどうか。②卒業生で年の若い方はどうか、③地域をよくわかっておられる学区内地域在の方(児童委員、保護司、町会関係者の方 など)になって欲しい。④CS委員メンバーはアンケートについて何度か議論をするので、あえてCS委員全員が参加しなくてもいいのではないかなどの意見が出された。その結果、次回会議までに学校応援団としてどのような団体、機関、所属等の方をお願いするかを考えてくることとした。 <アンケート調査の実施予定日等について>①実施日は[区教委教育調査]と[天中・生活と学び調査]を別々に実施した方が、回答者・PTAの方々に意図がわかりやすいのではないかと。②回答方法はPC等によるインターネット回答フォームを活用する方向で検討する。③[区教委教育調査]と[天中・生活と学び調査]が混同しないように、主旨を明確に保護者へ伝えることができるように工夫する。④調査にあたって教師の負担感と回収率を十分に考慮する。などの意見が出された。さまざまな状況を勘案した結果、a[区教育調査]と[天中・生活と学び調査]を基本的には区分して実施予定とする。b.[区教育調査]は昨年同様の11月中旬から12月初週で実施、[天中・生活と学び調査]は別時期に実施予定。c.次回CS会議で最終調査項目を検討する。ことを確認した。

(2) 懇談会は、各グループに別れて行い、次のような点が報告され意見交換した。①都教委の教員人事配置がアンバランスな状況のため、学校の教員の負担感が出てきていると考えられないか。②部活動の外部指導員や授業中の生徒指導のための教員補助者や教員増員の必要性和要請。具体的には、教員が使用するパソコンやパソコンシステムのトラブル対応、初期設定などの技術的な事業を行うことができる専門員の配置や増時間の要請が出ていた。③同じ業務内容であっても、区の職員配置の規則や立場(区職員の立場、ボランティアの立場、補助員の立場など)で謝金金額が異なることが、人材確保をしにくい状況の一因となっていることが懸念されている。④校舎雨漏りなど施設面での環境改善。これらのことを確認した後に、教育委員会(済美教育センター)との懇談を申し込むことを考えたい。その内容や時期等について次回CS会議で検討する。

(3) 生徒の言動に関わるいくつかの事例に焦点をあてながら、意見交換を行った。様々な課題への取り組み方についての現状理解を深めることができた。今後、再度、どう考え、対応していくことができるかも意見交換していくこととした。

(4) 来月に、現CS委員の個々の次期CS委員継続可否について意見を述べる。

(5) 会長に明日の10時迄に訂正のある方はメールする。

(6) 時間の関係で、後日メール等で情報提供することを確認した。

次回の会議日程

日時	11月14日(月) 10:00~12:00
会場	天沼中学校会議室